

2022-23 年度
福山西ロータリークラブ

例会情報

第1507回(14)

会長 笹田 博之 幹事 内山 春夫

クラブ会長テーマ



「想像力を高めて変化に対応、社会に貢献」

日時	2022年 11月1日(火) 12:30 ~
場所	福山ニューキャッスルホテル
例会行事	点鐘・ソング「君が代・奉仕の理想」 ゲスト・ビジターの紹介(出席報告参照) 入会式 会長報告 幹事報告 出席報告 S A A 報告 スマイル報告 プログラム情報 その他報告
その他情報	メイクアップ情報(来週分) メイクアップ情報(再来週分) 今後の行事予定 クラブ活動報告



IMAGINE
ROTARY

【 会 長 報 告 】

11月初めの会長報告です。さて先月の15日(土曜)16日(日曜)の両日に国際ロータリー第2710地区、地区大会が山口県徳山周南市において3年ぶりにリアル開催されて当クラブからは会長の私を含めて内山幹事、尾熊副会長、瀬尾会長エレクト、下平財団米山委員長、高尾社会奉仕委員総勢6名が参加いたしました。そして先週は(株)アイシン産業様での職場例会ということでクラブ会員皆さまと共に会社訪問をさせていただきました。対応していただきました宇田さまには御礼申し上げます。

さて11月は秋も深まり秋の味覚を楽しめる季節であります。今日は大人から子供まで大好きな寿司、特に江戸前にぎり寿司について少しお話しをさせていただきます。まず寿司屋、回転寿司屋でも注文したにぎり寿司はたいていが2つでワンセットとなっています。これにはいくつかの説があるそうで有力なのは江戸時代の風習に起源があるとする説です。

江戸前にぎり寿司が登場したのは、文化・文政年間(1804-30年)の頃で当初は今で言う関西風押し寿司だったものを握り飯の上にネタを乗せることが考えられて江戸っ子たちの心を掴んだそうです。当時提供される寿司は握り飯大というかなりの大きさで、それは庶民が使っていた紐を通した穴あき銭1貫分(50枚)とほぼ同じ大きさだったことからいまでもにぎり寿司を1貫、2貫と呼ぶようになったということです。実は東京両国駅そばの大相撲・両国国技館の東隣にある東京都江戸東京博物館は江戸時代をメインに昭和初期にかけての色々なジオラマ展示があり興味深くなかなか面白いので私は2度ほど見学にいきました。この中で江戸庶民の生活の展示コーナーでは当時の寿司屋台が展示されていてそれは時代劇の簡素な蕎麦屋台と同じようで寿司は今でいう手軽に食べられるファーストフード的な存在であったとおもわれます。そこにはろう細工のにぎり寿司が並べてあるのですが、たしかにコンビニのおにぎりよりも一回り大きめの量を俵状に丸めたシャリにこれまた大きめのネタが乗っかっていました。このサイズなら2つか3つも食べれば満腹になると思います。当時のにぎり寿司はネタの冷蔵設備もなく、漬マグロ、玉子、酢じめの切り身魚などで種類も少なかったようで、また一つが大きいのでそのままでは食べにくい。そこで食べやすいように半分に切って提供するようにしたのですが、それなら最初から二つ握ったほうが手取り早いということで今に至ったそうです。これが二つ(2貫)がワンセットになったということです。色々諸説もあろうかとは思いますが、この話はなんとなく説得力があるのではないかと考えているしだいで

す。

さて本日のプログラムは[一般財団法人・日本熊森協会]名誉会長森山まり子さまによる卓話となっております。どうかよろしく願いいたします。

【プログラム情報】

《ゲスト卓話》



森山 まり子 様
一般財団法人 日本熊森協会 名誉会長

1948年兵庫県尼崎市生まれ。大阪教育大学で物理を専攻。元兵庫県尼崎市立武庫東中学校教諭。1992年に生徒たちと絶滅寸前の兵庫県ツキノワグマの保護に立ち上がる。1997年、大学生になった教え子や市民たちと、実践自然保護団体 日本熊森協会を設立。以来、熊の棲む豊かな森を、子や孫、そして全生物に残すために、奔走している。

生きる場所を奪われたクマの悲痛な叫び！ 「誰もやらなければ私がやる」命がけのスタート

「活動のきっかけは兵庫県尼崎市立武庫東中学校に勤めていた1992年の事、生徒が持って来た一枚の新聞記事でした。痩せてガリガリのクマが射殺され、両側には笑顔のハンターたちの写真が大きく掲載されていました」。

戦後の拡大造林によって広大な部分が伐採され、人間に有用なスギとヒノキの人工林を推し進め野生動物たちはねぐらとエサ場をなくしたのです。

「棲む場所を失い空腹のあまり民家近くに出てきた動物たちを、人間は銃で撃ち殺し次々と駆除し始めたのです」。

胸の痛みを抑えきれなかった生徒たちに突き動かされ、「クマ保全活動」に立ち上がりました。生徒たちと集めた署名を集め兵庫県知事に直訴。生徒たちは天皇陛下にも手紙も書きました。ついに1994年5月、「兵庫県ツキノワグマ狩猟禁止」が発表されました。

それから森山さんは全国を飛び回り自然について徹底的に調査。その中で生命の息吹に満ち溢れた手つかずの自然の森と遭遇。「これが本来の姿。動物が通る獣道は森に風を引き込み、枝を折りながら木の実を食べることで日光を入れるんです。動物と植物は密接な共生関係にあるのです」。一方、放置された人工林は光は差さず、草木育たず生き物の気配のない絶望的な死の森だったそうです。

そんな現状を目の当たりにした森山さんは1997年、『日本熊森協会』を設立。その時「国策に意見が言えるよう、国からの援助はもらわず会長は無給」と決め、教師と“熊森”の二足のわらじをはきながら過酷な日々を過ごしました。なぜなら、当初、同協会の活動費はすべて森山さんの教師の給料で賄われていたから。

やがて活動の輪も広がり、発足から10年後の54歳の時に教師を辞め“熊森”の活動一本に没頭することになりました。【日本熊森協会 ホームページより】

奥山保全・再生



日本熊森協会

1

森を残し、全生物と
共存しなければ
人間も生き残れない
(現代生態学)



2

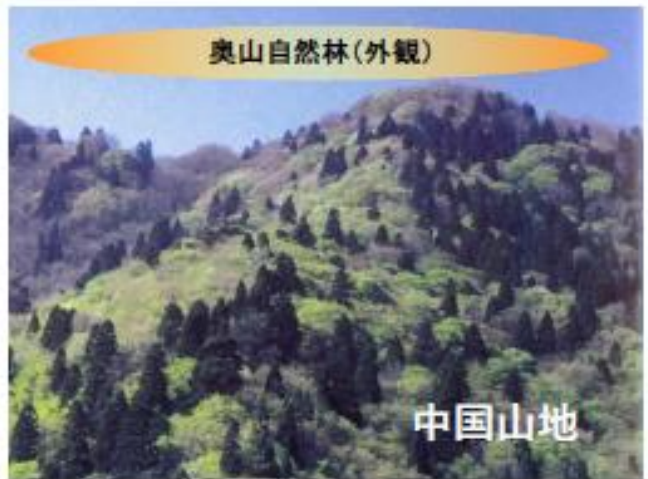
森林率67%



森 7%
≠
林 60%

3

奥山自然林(外観)



中国山地

4

奥山自然林(内観)



生物の多様性

森 = 植物 + 動物 + 微生物

5

水は森から

「山からのわき水」

川・海への栄養分



6



7



8

絶滅の最大原因

戦後の拡大造林

9



10



11



12



13

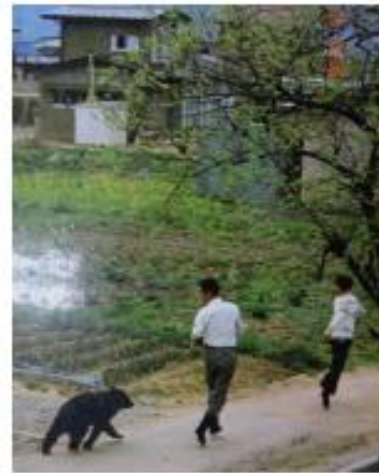


14



15

長野県
宮澤正義先生



ツキノワグマ日記

16

絶滅の第2原因

奥山開発

17



18



19



20

- × 地方行政
- × 官僚
- × マスコミ
- × 大学教授(研究者)

21

自然を守るのは
 大自然保護団体
 → 法整備
 (英)ナショナル・トラストの例

22

他生物のために 次世代のために



1997年

日本熊森協会結成
 100万人の大団体を!

23



24



25



26



27



28

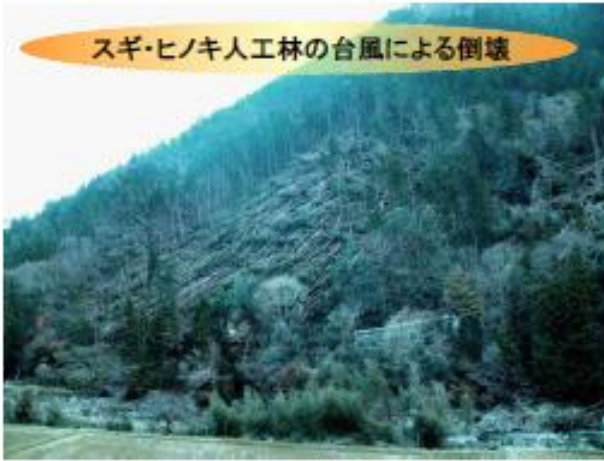


29



30

スギ・ヒノキ人工林の台風による倒壊



31

スギ・ヒノキ人工林の土砂崩れ



32

スギ流木被害



33

水涸れ

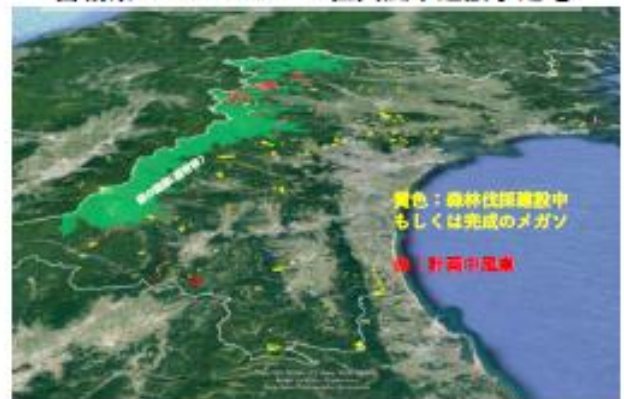


34

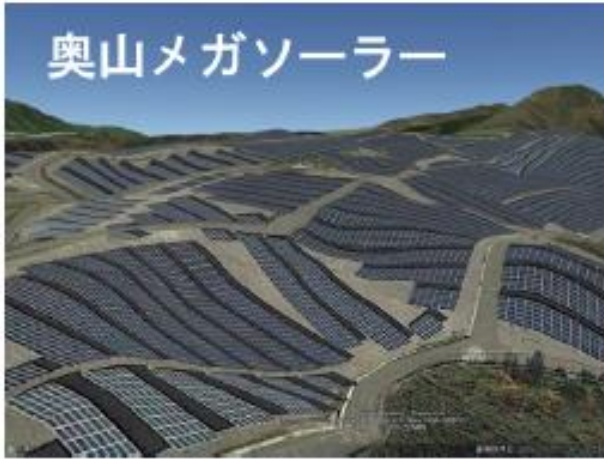
新たな課題
 再エネによる
 森林大破壊
 外資が日本を食い物に

35

宮城県 メガソーラー・巨大風車建設予定地



36



奥山メガソーラー

37



38



尾根筋風力発電

39



風車建設のために
山を切り開かれた場所

幅40m

40



風車の高さ200m 60階ビルに相当

コンクリート車100台

41



麓から尾根筋に至る道と尾根筋に、幅広い道路取り付けが必要一山
安芸太田町、広島市（湯来地区）、廿日市市（吉和地区）
広島県ツキノワグマ最後の砦

花崗岩質の断層帯に風車36基計画（概念図）
広島西ウィンドファーム計画 電源開発株式会社（旧パワ）

42

- × 地方行政
- × 官僚
- × マスコミ
- × 大学教授(研究者)
- × 政治家

43

利権のない市民勢力



44

山林での再エネに

法規制が必要

省庁回り・国会議員回り

45



46



自由民主党 政務調査会長代行
古屋圭司 衆議院議員

47

(結論) 国土を守るために
誰にでもできる簡単なこと

本気の自然保護団体に入会

- 正会員 年6000円
- 応援会員 年1000円～

48

【その他報告】

《入会式》

【新入会員入会式】

氏名	小林 崇 さん
年齢	51歳
生年月日	昭和46年11月21日
職業分類	自動車販売・修理
推薦者	吉山 聡 さん
アドバイザー	能登 伸一 さん
所属委員会	親睦委員会/社会奉仕委員会



《 “ロータリーの友” 誌 紹介 》

「ロータリーの友」誌 11月号

ロータリー財団月間、世界インターアクト週間

ロータリー情報委員長 梶原 啓子

- 横目次 8P 大規模プロジェクト補助金は「ナイジェリアの家族の健康に寄り添う」は対象とする地域の母子の死亡率を最終的に25%減少させたいと、国、州、地域レベルで医療制度を強化し、母親の健康を向上させ、家族計画を普及させることを目指す。
大規模プロジェクトに参加しませんか？とその条件が提示されています。
- 横目次 12P 大規模プロジェクト補助金の最終選考に残ったプログラムが紹介されています。
・基本的教育と識字率向上、平和構築と紛争予防
・疾病予防と治療
- 横目次 14P 冠名基金ってなに？
年次基金と恒久基金についてわかりやすく書かれています。
そして寄付経験者と地区の記事が載っています。
- 横目次 18P 2023年ロータリー国際大会の開催地メルボルンの紹介記事。食の都、文化の都、
スポーツの都、ショッピングの都といろんな角度からの記事で行きたくなりました。
- 横目次 26P 広島県内インターアクト研修会の記事。
政治と選挙を模擬体験
民主主義に根幹のである選挙についてや選挙制度の成り立ち、税金について等沢山の学びがあったそうです。英数学館3年の亀和田結奈さんの感想も掲載されています。
- 横目次 30P バックナンバーでたどる「友」70年。これはとても興味深く読みました。
1972年 札幌オリンピックの聖火台は、全国ロータリアンの寄付で真駒内屋外競技場に寄付された。テーマ曲「虹と雪のバラード」は札幌西RCのロータリアンが作詞。
1978年 第69回RI東京国際大会は4万人が集結。たくさんの感動が語られています。
この年新補助金プログラム指導。そしてポリオ撲滅活動へつながっていく。
1980年 マザーテレサがポールはリスフェローに。
1989年 女性の入会をRIが認める。
- 横目次 40P モンゴル米山学友会会長ウドワル・セデバザルさん モンゴルの米山学友は約300人。
- 横目次 42P 異国生まれの日本育ち フードのお話です。コロッケ、グラタン、スパゲッティナポリタン、プリン・ア・ラ・モード、カツカレー、オムライス、エビフライ、中華丼、天津飯、

アイスコーヒー

横目次 48P エバンストン便り 2024-25 年R | 会長にステファニーA・アーチック氏。二人目の女性会長です。

横目次 50P 「友」誌の購読数変更は 12 月 5 日までに。

縦目次 4P 人との出会い、人とのつながり

麗澤大学前学長・元ロータリー財団奨学生 中山 理氏
日本の社会に根付く道徳観と絆、企業に社会的責任、態度価値

縦目次 17P ロータリーソング「それでこそロータリー」の歌詞「やあ」「おい」につての投稿。同感です。

縦目次 19P 徳島南RC 瀧誠司氏 会長経験を、弁護士会会長に生かす。

縦目次 20P ロータリーアットワーク…カンボジア、河川絡みの活動が多かった。

- ・カンボジアで幼い命を守るため手洗いをレクチャー
- ・地域のイベントでポリオ根絶の募金活動 東京御苑RC
ロータリーやポリオを知らないという声は残念。PRはクラブがこれから担う課題であると実感
- ・児童養護施設にスポーツ用具寄贈 広島安芸RC

以上

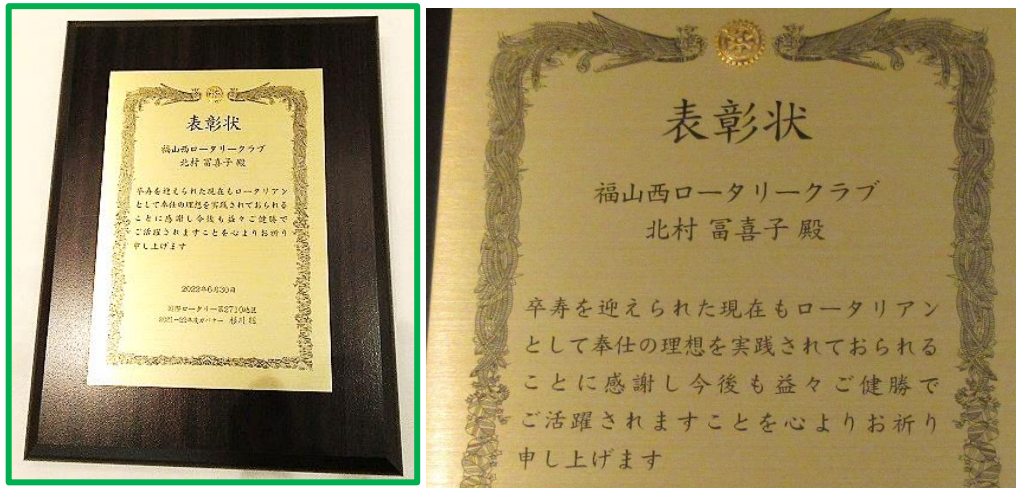
《 各種表彰等 》

【地区功労賞】



《2021-22 年度 グループ 11 ガバナー補佐 塩川 裕樹 さん》

【卒寿 表彰状】北村 富喜子 さん



《 外国人留学生支援 》



《10月31日(月)「外国人留学生を支援する会」へ食料品を贈呈》

《第 1507 回例会 BGM♪》

・藤井啓之さん選曲

『♪年代別名曲♪』